

令和7年度

わかりやすい決算書

亀山市の1年間の主な取り組みと財政状況を報告します

場所：東野公園

実質単年度収支が、平成25年度以来12年ぶりの黒字に！

令和7年度の一般会計は、歳入が244億2,320万円、歳出が237億4,008万円となり、歳入歳出差引額は6億8,312万円となりました。ここから翌年度へ繰り越す財源を引いた実質収支額は6億5,528万円の黒字となっています。

また、実質収支から前年度の実質収支を引いた単年度収支も、1億7,671万円の黒字となりました。さらに、財政の健全度を示す実質単年度収支額は、前年度は6億6,678万円あった財政調整基金の取崩し額を0円(取崩しなし)に抑えることができたことから、1億8,042万円となり、平成25年度以来、12年ぶりに黒字に転じました。

※実質収支から積立金や積立金取崩し額などを加減した、その年度の本当の収支を表します。

歳入決算額

244億2,320万円

(対前年度比 約12億6,097万円の増)

歳出決算額

237億4,008万円

(対前年度比 約10億7,744万円の増)

実質収支額

6億5,528万円

「財政構造改革骨太方針2024」～持続可能な財政構造への改革～

令和7年度は、事務事業のゼロベースからの総点検や各種計画の見直しをはじめ、企業会計への繰出金削減、組織・事務の効率化、基金の積極的活用、さらに各種補助金や歳入確保の取り組みに至るまで、全庁を挙げて多岐にわたる見直しを推進しました。

こうした一連の取り組みは、職員一人ひとりのコスト意識や財政規律の向上にもつながり、令和7年度決算において、確かな成果となって表れています。

集中改革期間(令和6～8年度)の最終年度を迎える令和8年度は、翌年度以降の持続可能な財政運営へつなげるための「改革基盤の確立」を目指す重要な年です。これまでの成果を確実なものとし、健全で持続可能な行財政運営の実現に向けて、引き続き全庁一丸となって取り組んでいきます。